

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	田近正洋
2. 研究課題名	家族性大腸腺腫症患者に対する腸管切除後残存腸管に発生する腺腫に対するインジゴカルミン散布法の有用性の検討
3. 研究の目的・方法	目的: 家族性大腸腺腫症患者の外科手術後の残存腸管に発生する腺腫、癌を診断するための観察法である通常観察、NBI、インジゴカルミン散布を用いた色素法の比較検討を行う。方法: 内視鏡部のデータベースを用いて解析する。
	研究期間: 平成30年4月19日から平成32年3月31日 (遺伝子解析: ②行わない)
4. 研究の対象となる方	1975年9月から2018年3月1日に当院にて術後に内視鏡を用いて経過観察を行った家族性大腸腺腫症患者
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名()
	診療情報内容(手術所見、術後の内視鏡検査数、間隔、腫瘍発生に要する期間、個数、病理組織、治療法、治療間隔、内視鏡治療による偶発症、予後、等)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX : (052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)